

安全衛生環境情報

アイ・シー・ティー 株式会社

作成 衛生管理者 小林

令和7年9月 ICT 重点災害防止活動項目

1. 感染症予防対策月間(継続)

- 1) 密閉空間・密集場所・密接場面が重なる状況を避ける
- 2) 十分な睡眠と規則正しい食生活で、免疫力を高める
- 3) 外出後の手洗い・うがいの実施、こまめな部屋の換気と十分な湿度の保持をおこなう
- 4) コロナワクチン定期接種は、高齢者、基礎疾患のある人については接種を推奨する

2. 心とからだの健康推進運動(9月1日～30日)

令和7年度標語「健診で心とからだに寄り添って生活改善 充実ライフ」

多様な人材が安全に、かつ安心して働き続けられる職場環境の整備を進めるため、労働安全衛生法等で新たに以下の事項が盛り込まれました。

- 1 職場のメンタルヘルス対策の推進（労働者数50以下にストレスチェック実施の義務）
- 2 化学物質による健康障害防止対策等の推薦（危険性・有害性情報の通知義務違反に罰則）
- 3 高齢者の労働災害防止の推進（高齢労働者の労働災害防止に必要な措置の努力義務）
- 4 治療と仕事の両立支援の推進（治療と就業の両立に必要な措置を講ずることの努力義務）

3. 秋の全国交通安全運動(9月21日～30日)

運動の期間は、9月21日(日)から9月30日(火)までの10日間で、運動期間中の9月30日(火)が「交通事故死ゼロを目指す日」となっています。

運動の全国重点

- ・歩行者の安全な道路横断方法等の実践と反射材用品や明るい目立つ色の衣服等の着用促進
- ・ながらスマホや飲酒運転等の根絶と夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用促進
- ・自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルール理解・遵守の徹底とヘルメットの着用促進

交通事故死者数全体のうち、歩行中の割合が最も高くなっています。こどもの事故も少なくありません。時代を担うこどものかけがえのない命を社会全体で交通事故から守るため、安全な道路環境の確保が何よりも重要です。

今月の安全衛生 社内自主 テーマ

◎感染症予防継続（コロナウィルス及びインフルエンザワクチン接種は、高齢者及び基礎疾患者においては接種を推奨する）

◎STOP! 熱中症クールワークキャンペーン実施に伴い、熱中症予防対策として各自でこまめな水分補給・規則正しい生活等の予防対策を行う

今年度の行動指針

「慣れと油断は気の緩み ルールを守り 安全確認」

「毎日が 新たな決意と実行で 感染予防 健康職場」

ご安全に！